

授業科目 調査研究方法論	科目概要・形式 1単位 15時間(8コマ) 講義科目	配当年次 博士前期1年次 前期開講	オンライン参加 <input type="checkbox"/> 可・不可
科目責任者	松村 健太		
担当者	松村 健太、吉池 信男		
1. 科目のねらい・目標 <p>【ねらい】 公衆衛生活動において最初のステップとなる集団を対象とする量的調査に関して、主に質問紙を用いた調査研究を想定し、調査票の作成、データ収集、並びにデータマネジメント、データ加工の具体的な方法を、具体例を通じて講義・演習により学びます。</p> <p>【目標】 自身の研究において、調査票の設計やデータマネジメント、データ加工をしっかりと行えるようになることを目標とします。</p>			
2. 授業計画・内容 (吉池) 第1～4回 1) 集団を対象とした量的調査に関わる基礎とバイアス、精度管理の考え方 2～3) 質問紙調査における調査票の設計、オンライン等によるデータ収集方法 4) 解析用データセットの確定までの作業の実際 (松村) 第5～8回 5～6) 解析用データセットのチェック、データ加工作業に関する演習 7) 質問紙の性能評価方法と、既存の質問紙の有効活用 8) 具体的な調査・研究例や論文等について、受講生の研究テーマに沿った形での学習			
3. 教科書、参考書 <教科書> <参考書> 1) 鈴木淳子：質問紙デザインの技法 第2版. ナカニシヤ出版, 2016 2) 土屋雅子：看護・医療系スタッフのための質問紙作成ワークブック. 診断と治療社, 2023			
4. 成績評価方法 提出課題・プレゼン (80%)、授業・グループワークへの積極的参加 (20%)			
5. 受講要件 特になし。特別研究などで、質問紙調査(オンラインを含む)を含む研究を予定する方は是非受講してください。			
6. 社会人学生に対する配慮 双方向型の完全オンライン授業、あるいは対面とオンラインを組み合わせたハイフレックス型で授業を行います。また、時間の有効活用を図るために、一部オンデマンドの受講や Webex スペースを活用した授業を予定しています。			
7. その他 教科書的な事は最小限とし、本には書いていないけれども、実際の調査においてポイントとなる事柄に重点を置いて学んでいきます。一部オンデマンド受講可、その他は、オンライン受講可です。オンデマンド実施の際には、レポート課題提出となる予定です。			